

政策シート

(政策名) 国民健康保険事業の健全で安定した運営

(予算費目名) 国民健康保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

国民健康保険事業の健全で安定した運営を行う。

- ・円滑で安定した事業運営
- ・健全で安定した財政運営

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	93,389,000	93,543,000
決算	92,475,256	
人件費(A)	221,700	226,300
報酬(B)	159	255
年間経費(予算又は決算+A+B)	92,697,115	93,769,555

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
保険料現年分収納率	%	92.00	目標	90.00	90.2
			実績	89.79	
特定健診受診率	%	48.00	目標	39.00	42
			実績	31.73	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

国民健康保険事業の健全で安定した運営を行う。

- ・円滑で安定した事業運営
- ・健全で安定した財政運営

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

【保険料現年分収納率】

「国民健康保険料滞納削減のためのアクションプラン」に基づき、収納率向上対策を実施した。

- ・現年分収納率目標値90.00%に対し実績89.79%となった。

【特定健診受診率】

受診率目標値39.00%に対し31.73%(H28.6月末時点)となった。

- ・被保険者の健康保持増進及び医療費の伸び抑制を図るため、ハガキ・電話勧奨等により、受診率の向上に取り組んだ。

事業シート (事業名) 国民健康保険事業特別会計

◇事業目的・事業対象

国民健康保険事業の健全で安定した運営を行う。

◇事業の概要

- ・被保険者の的確な資格管理及び保険給付事務により、円滑で安定した国民健康保険事業を行う。
- ・適正な保険料の賦課及び収納事務により、健全で安定した財政運営を行う。
- ・被保険者の健康維持、医療費適正化を図るため、特定健診・特定保健指導を行う。
- ・医療費適正化対策として、特定健診実施率向上とジェネリック医薬品の普及促進に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和34年度	-	特別会計	自治事務(法令義務)	国民健康保険法、浜松市国民健康保険条例	-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	93,389,000	93,543,000
	決算	92,475,256	
	国・県支出	21,203,488	21,356,051
	市債		
	その他	44,997,933	46,096,991
	一般財源	20,662,701	20,707,407
	一般会計繰入金	5,611,134	5,382,551
人件費(報酬等) (千円)		159	255
人件費 (千円)		221,700	226,300
人工	正規	29.3	29.3
	再任用(h31)		2.0
	再任用(h26)	1.0	
	非常勤	5.0	5.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
保険料現年分収納率 (%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	90.00	90.2			92.00
実績値	89.79				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
特定健診受診率 (%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	39.00	42			48.00
実績値	31.73				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・被保険者の的確な資格管理及び保険給付事務により、円滑で安定した国民健康保険事業を行う。
- ・適正な保険料の賦課及び収納事務により、健全で安定した財政運営を行う。
- ・被保険者の健康維持、医療費適正化を図るため、特定健診・特定保健指導を行う。
- ・医療費適正化対策として、特定健診実施率向上とジェネリック医薬品の普及促進に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【保険料現年分収納率】

- 「国民健康保険料滞納削減のためのアクションプラン」に基づき、収納率向上対策を実施した。
- ・現年分収納率目標値90.00%に対し実績89.79%となった。

【特定健診受診率】

- 受診率目標値39.00%に対し31.73%(H28.6月末時点)となった。
- ・被保険者の健康保持増進及び医療費の伸び抑制を図るため、ハガキ・電話による勧奨等を行い、受診率の向上に取り組んだ。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今年度から、保険料口座振替不能者に対する再振替日までの入金依頼通知書の発送及び電話掛けを実施した。
- ・特定健診受診率向上を図るため、未受診者に対する電話勧奨対象者を拡大したほか、公共交通機関を利用した周知啓発(ラッピングバス)を行った。
- ・健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、データヘルス計画を策定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新たな滞納削減アクションプランを策定し、さらなる収納率向上、累積滞納額の削減を図る。
- ・特定健診受診の習慣化を狙い、初めて健診の対象となる40才の自己負担を無料化し、受診率の向上及び被保険者の健康保持増進を図る。
- ・平成30年度からの国保広域化に向け、県と市町の協議の場(国保運営方針連携会議)において、具体的な協議を進める。

・事業の分類

大分類 細分類

補助シート (事業名) 国民健康保険事業特別会計

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

行財政改革の取り組み (事業名) 国民健康保険事業特別会計

◇取組概要

国民健康保険事業の健全な財政運営と被保険者間の負担の公平性を図るため、「国民健康保険料滞納削減アクションプラン」に基づき、収納率の向上に取り組む。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

行政経営計画 取組番号 2004

取組事項名 国民健康保険事業収納率の向上

個別計画等 計画名等 国民健康保険料滞納削減アクションプラン

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	口座振替率 (%) ※H28以降は次期アクションプラン策定時に掲載	計画値 61.3	H28策定	H28策定	H28策定	H28策定
		実績値 62.66				
2	累積滞納額(億円) ※H28以降は次期アクションプラン策定時に掲載	計画値 52.2	H28策定	H28策定	H28策定	H28策定
		実績値 47.5				
3	差押件数(件) ※H28以降は次期アクションプラン策定時に掲載	計画値 300	H28策定	H28策定	H28策定	H28策定
		実績値 325				
効果額(千円)		加算 112,396				112,396

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成27年度】

・今年度から、保険料口座振替不能者に対する再振替日までの入金依頼通知書の発送及び電話掛けを実施した。